

歴史的アプローチからせまる

超高齢社会・ 日本の〈迷惑〉意識

「家族に迷惑をかけたくない」という思いとは何か？

老い・看取り・死を考える際に、多くの方が「家族に迷惑かけたくない」「子どもに迷惑をかけたくない」という意識を抱いています。

こうした「迷惑をかけたくない」（〈迷惑〉意識）について、一緒に考えてみませんか。

日時 **2022年3月13日(日)**
10:00 ~ 18:00

**Zoom
開催**

プログラム

▶ 10:00 ~ 10:10 開会、趣旨説明

〔第1部〕 〈迷惑〉意識の歴史的形成（発表20分、質疑10分）

▶ 10:10 ~ 10:40 発表① 小泉礼子（福島東稜高等学校） 平安文学にみる〈迷惑〉意識

▶ 10:40 ~ 11:10 発表② 本村昌文（岡山大学） 近世日本の〈迷惑〉意識

—（休憩）—

▶ 11:20 ~ 11:50 発表③ 島田雄一郎（大島商船高等専門学校）

明治初期の初等教科書における〈迷惑〉規範

▶ 11:50 ~ 12:20 発表④ 加藤諭（東北大学） 近現代新聞メディアにおける〈迷惑〉

—「老い」「ジリツ」記事統計の変遷過程

—（お昼休み 12:20 ~ 13:30）—

▶ 13:30 ~ 14:00 発表⑤ 和田有希子（早稲田大学） 日本中世の「ジリツ」観念

▶ 14:00 ~ 14:30 発表⑥ 山本大介（大東文化大学） 棄老説話・姥捨伝説の形成と展開

▶ 14:30 ~ 15:15 第1部全体討論

—（休憩）—

〔第2部〕 〈迷惑〉意識を捉える視座（発表30分、コメント10分）

▶ 15:30 ~ 16:00 発表⑦ 鈴木亮三（岡山大学） かけた「迷惑」は弁済できるもの／すべきもの？

— 戦前・後の外国人による日本人論から考える

▶ 16:00 ~ 16:30 発表⑧ 佐藤弘夫（東北大学） ヒトの生存戦略とその変容—「贈与」という視座から

—（休憩）—

▶ 16:40 ~ 18:00 コメント① 浅見洋（石川県西田幾多郎記念哲学館）

コメント② 中谷文美（岡山大学）

全体討論

申込・
問合せ先

担当：本村 昌文
メール：tomtom@okayama-u.ac.jp

主催：科研費・基盤研究 A「日本社会の「老い」をめぐる分野横断的研究—「迷惑」と「ジリツ」の観点から」（課題番号 20H00007）

共催：「人ならざるもの」の擬人化を通じた人間社会とデジタル技術との調和・共生に関する研究（東北大学「持続可能な社会の創造を目指す研究スタート支援事業」）

「老年人文」の研究拠点形成（令和3年度岡山大学次世代研究拠点形成支援事業）